

「薫習」～納税の想い～

山脇学園中学校2年 細貝 桃奈

「おばあちゃん、濃厚接触者になっちゃったって……。」

毎日聞かない日は無い、未曾有の災禍、新型コロナウイルス……とうとう私の身内にも迫ってきてしまいました。さて、どうしよう。いつ家族が罹患してもおかしくない状況の中、心構えもしていたはずなのに、いざ連絡を受けると、とまどいしかありませんでした。離れて住んでいる祖母に何もしてあげることができない、会いに行くこともできない、無力な自分。私の家族が頼ったのは、行政サービスでした。そしてそれは税のおかげだったのです。ワクチン接種も新型コロナウイルスの治療費も自宅療養者への食料品の差し入れ、これら全て税金が担ってくれていたのです。

もし、日本から税金の仕組みが消えたら、を考えてみてください。交番が有料化するかも知れません。ごみの処理も高額となれば街にゴミが散乱するでしょう。すると、病気や怪我也多くなります。しかし、救急車は有料で病院の治療費は高額、となれば支払いできない人が多くなるのではないか、と思います。当たり前のように交通が安全に機能し、安心安全な暮らしはどこからきているのか考えれば、税金の仕組みの素晴らしさを再確認できます。

私はときどき、外国人の友人家族とオンラインで会話をします。そのときに日本は街がキレイで安全だねと褒められます。その度私は税金のおかげなんだよ、と説明します。いつもとても嬉しく誇らしくなるので、今回世界の消費税について少し調べてみました。消費税率は日本が一番高いと思っていたのですが、国税庁によると日本は世界で九番目に高いそうです。日本の消費税率は高いという声をよく聞くので、一番消費税率の高いデンマーク、ノルウェー、スウェーデンの二十五パーセントには仰天しました。あまりにも消費税が高いと困りますが、自分の為の納税と考えるなら、気持ちよく納税できるのではないのでしょうか。

仏教用語に「薫習」という言葉があります。先日知ったばかりですが、とても心に響きました。布に香りが残るように、時間をかけて願いや想いが他人に届くということだそうです。私の納めた消費税が必要とされるカタチとなり、いつの日か誰かに伝わる。まるで税金の仕組みのようだなと思いました。

若者は納税について無関心のように見受けられます。もっと幼少期から税についての知識を学ぶ機会を増やすべきだと思います。面倒くさい、分からないと言わず、誰かの為だけではなく自分の為に納税する気持ちを持つべきなのです。e-taxなど便利な納税システムもあります。もっと気軽に、そして「薫習」に、税金が正しく有意義に使われて、より良い日本の未来へと発展していくことを期待しています。